


DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

G.O.C.A.F

貴音編




身体の内外を
清め
心を穏やかに

今宵は満月

わたくしの
待ち望んでいた時

あなた様との
逢瀬の時



裸身となった
わたくしの身を
縄で縛り

身動きできない
わたくしを見て

全身を
撫で回し
弄り倒す

あなた様は
微笑んで
おりました

奇妙な椅子に
縛られ
足も縛られ

不安がる
わたくしに
突きつけ
られたのは……

大きな硝子で出来た
円筒形の器具
浣腸器でした

それをどうするか……
考えるまでもありません



尻穴に冷たい感触を感じた後
生温い僅かな粘度を持つ液体が
腸の中に注入されました

全身から
脂汗が
浮き上がります

腸の中も清め
てはいましたが……

羞恥心に
涙が浮かびました

ぬるりと尻穴から器具が
抜かれるのを感じます


椅子からは解放されても
縛られたこの身に
出来るのは惨めに
畳を搔くことだけです

悶えるわたくしの
尻穴に有無を言わさず
熱い怒張が
差し込まれました

わたくしの身体を
気遣う素振りすら
みせず

あなた様は
わたくしの尻を
何度も何度も
抉りました






わたくしも
粗相をしてはならぬと
必死に堪えて
おりましたが……


しかし

決壊の時は
やってきたのです



部屋に響いた
獣声が

自分のもの
のものは
気づいたの
から
後になつた
……
でした……



ただ一度の交合で
この夜は終わりません

今度はわたくしを
天井から吊るしながら
蜜壺を掻き回されます

天にはまだ月が高く
坐しております

わたくしは祈ります
どうかまだ月が
天にありますように
この時が続きます
ように……

律子編



夜遅く 残業明け
溜まるストレス
膨れ上がる……



そんな時



この人の
手が伸びてくる
……

跪いてプロデューサーの
チンポを口に含む

口の中に
僅かな塩味
が広がる

今日はまだシャワーも
浴びてないせいかな

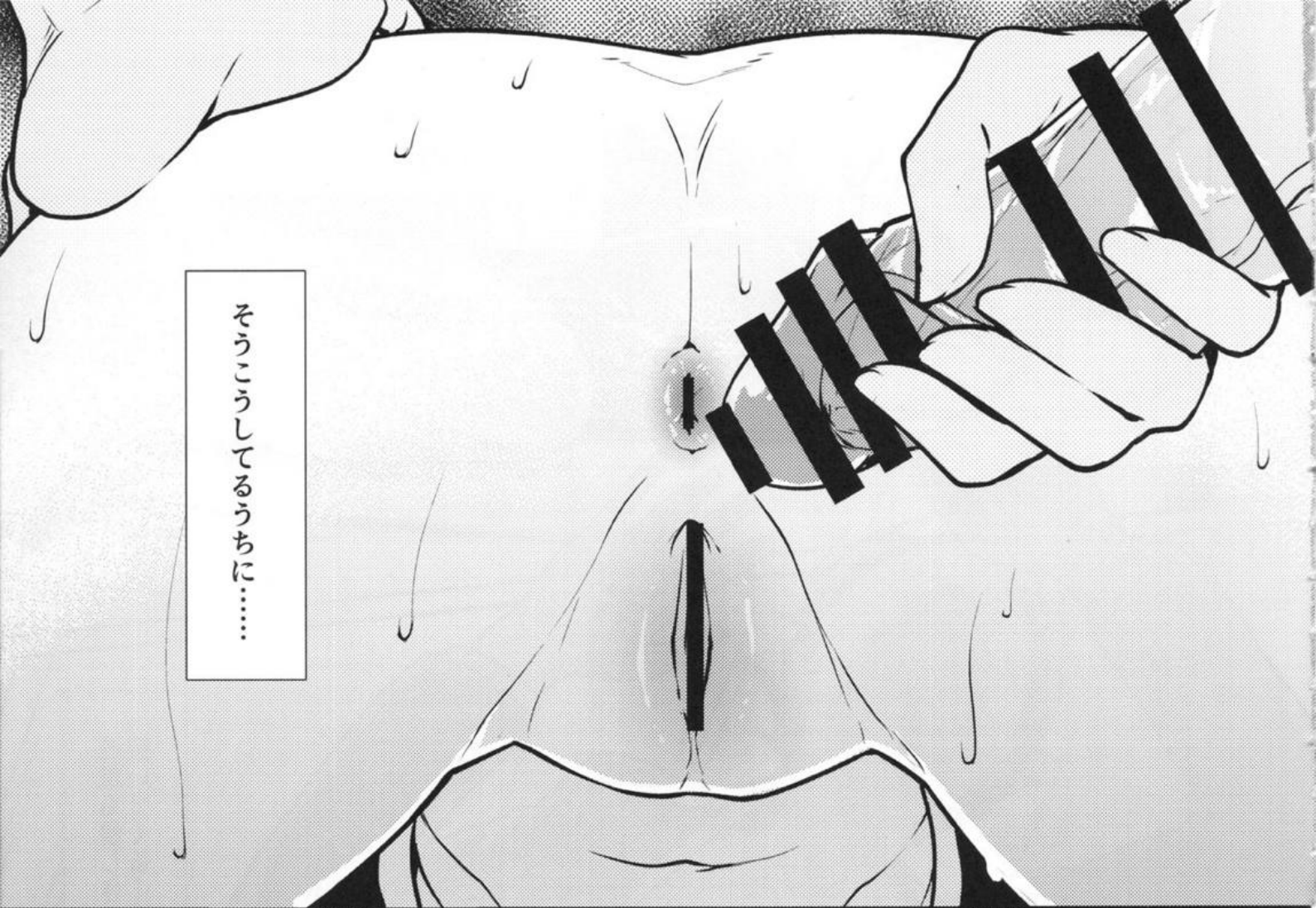
舐めて吸って転がして
みるみるうちにく
固くなっつていく
イクのを我慢する顔は
少しだけかわいい

今度は私を
机に押し付け
無遠慮に
アナルに
口付けた

ものすごく
恥ずかしい……
まだ処理も
してないのに
……

そんな私の心配を
よそにPの
アナルねぶりは続く





そうこうしてゐるうちに……



アナルへの衝撃に
おかしな声が出る

本当に
この人は……!?

私の想いなど
知らないと言
うように

遠慮も優しさもなく
突いてくる……

潰れたカエル
みたいな姿勢で
受け入れてしまう

だんだんと抽送が
早くなる
Pが達するの
も
時間の問題
だろう

急いで羽織っていた
物を脱ぐ
万が一出されたもの
が
見ついたら大変だから

そしてお尻に
感じる熱……

その時私の背筋にも
悪寒に似た快感が
走り抜けた



三戦目が終わった頃
窓を見ると
外が白み始めていた

結局夜通し……

快楽に酔う
頭の片隅で
跡から来る
子たちにどんな
言い訳をするか

そんなことを
考えていた



「プロデューサー！」
元気いっぱい
手を振りながら
待ち合わせ場所に
駆ける

Pも時間を合わせてくれた
だから……

明日から久々のお休み
つまり今から
お休みってこと

おしゃれにも
気合が
入っちゃうよね！



入ったホテルは
まるで電車の中
みたいだった


ちよつと変わった
プレイができそうで
ワクワクする

早速Pのおちんちんを
取り出して啜える
いつもボクらのために
頑張ってくれてるんだ

お口にも
気合が入るよね!

いっばい
気持ちよくなって
欲しくくて





すぐにプロデューサーも
興奮してボクを脱がせに
かかってきた

後ろから身体を
まさぐられながら
上着を脱がされた

もちろんキスも
忘れない唾の橋
興奮すのってボクだけかな？

脇 胸 オマンコも
丹念に念入りに
揉んで触って
舐めていく

手すりにボクを
捕まらせて
今度は置換プレイ

どうしよう
好きな人相手だと
こんなのでも
濡れてきちゃう

鉄棒によりかかり
足を高く上げてPを
誘う

Pもちろん
臨戦態勢だ

すぐにお尻に入れてきた
今日最初はこっちで
お楽しみ



ずんずんって
ボクのお尻に
Pのおちんちんが
叩きつけられる

プロデューサーって
ねちっこかったり
激しかったり
色々するけど

今日は本能のまま
でいくみたいだね
お尻好きなんだよね
Pって



ドクンドクンって
ボクのお尻に精液が
放たれる
ボクも一緒にイッちゃった
同時にいくと嬉しいんだ

それから ブボン！って
音がしておちんちんが
引き抜かれる
大量の精液が垂れていくのと
ボクの中から熱が抜けていく

だめだ
もっと欲しい……
まだ足りないよ……



椅子のところでちよつと休憩
でも今日も明日もまだまだ
残ってる

だらしなく寝そべった
ボクを見てPも
復活したみたい

つぎはどんなこと
しよっかな!

もっともっと
楽しまなくっちゃね!





あとがき

本書を手にとってください、ありがとうございます。
今回は一人8pほどでの短話集的なものでしたが。
いかがでしたでしょうか？
できればもっと一人ひとり濃い内容で描きたかった
のですが、それはまたいずれ。

それではまた次の本で。
あと同時に出したゼノブレイド2本も
よろしくおねがいします。

あ、あとタイトルのAFはアナルフアックの略です。

奥付：
発行者： k-you
発行日： 2018/12/31
メールアドレス： k.you986@gmail.com
PixivID: 73105
印刷会社： 株式会社 栄光

本書の無断複製、無断転載、無断でのインターネットなどへのアップロードを禁じます。

白雲